

会議

令和7年度 AJEEP CNプロジェクトスタートアップミーティングを実施しました

【事業概要】一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けてASEAN多国間省エネ人材育成協力（AJEEP）のScheme 5事業を実施しております。昨年度に実施したCN診断のまとめとしてスタートアップミーティングをラオコカ・コーラ（LCC）で2025年9月24日にオンラインで実施し、CNに向けた中長期計画を策定しました。中長期計画については会社幹部から承認を受け、CNプロジェクトが実質的にスタートしました。



ラオコカ・コーラによるプレゼンテーション

グループ写真

AJEEPスキーム5の活動の一環として、2024年9月に実機でのCN診断をラオコカ・コーラ（LCC）で実施しました。CN診断レポートの作成、診断結果のASEAN内の報告を経て、中長期計画を策定しました。本会議の主旨は策定した中長期計画を会社幹部に承認いただき、会社としてCNプロジェクトをスタートすることにあります。

ECCJから、スタートアップミーティングの意義、CN診断の最終報告書の説明、本会議の後の活動方針について説明し、理解が得られました。

LCCでCN診断を実施した担当者からCN診断結果および中長期計画案が説明されました。

- (1) 当面、省エネ対策に焦点を当てた活動を展開していく。
- (2) 今回のCN診断結果に基づいて2030年までの活動計画を立案した。
- (3) 省エネ対策として、冷蔵庫の設定温度の見直し、エアコンプレッサーの吐出圧低減の2項目を実施する予定です。
- (4) 課題として、ラオスは水力発電が主体であり、太陽光発電によるCO₂削減の効果が少ないことがあげられました。
- (5) ACE、DEEP、ECCJは必要に応じて参加、支援を継続していきます。

中長期計画については会社幹部に事前に説明され、質疑応答を経て会社幹部の承認を得ることができました。

AJEEPスキーム5のCN診断活動としては一区切りとなります、LCCとしてはCNプロジェクトの開始となります。

専門家派遣による実機でのCN診断の指導、採集データの分析方法指導、診断レポート作成支援、中長期計画策定の考え方の伝授など多くの支援を提供し、CNプロジェクトを策定できる人材の育成に寄与することができました。スキーム5において産業分野としては3件目のCN診断でしたが、当初の成果が得られ、今年度のCN診断にも今回の経験を生かしていきます。

* AJEEP : ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership